

<日 時> 令和 7 年 4 月 17 日 (木) 14:00～14:30

<出席者>

利用者家族様 0 名 利用者様 0 名 地域の方 2 名 出雲市職員 1 名
高齢者あんしん支援センター職員 2 名 施設職員 2 名

<議 題>

■前会議報告 ■ご利用・活動状況報告 ■質疑応答 ■次回の運営推進会議について

<報告事項>

○サービス利用状況 登録者数 17 名、平均介護度 2.5 *別紙資料参照

○活動状況

・季節の行事、

2 月 節分、立春・節分献立・豆まき、バレンタインデー、建国記念日、天皇誕生日、誕生会

3 月 桃の節句・ひな祭り献立・出雲市集団指導・春分の日・お彼岸献立・誕生会

4 月 花見ドライブ(桜:斐川公園・加茂の段部しだれ桜・斐伊川土手/椿:ムラタ道路/菜の花畑)
昭和の日・誕生会

○意見交換

ひよりより

・事例 1…前回事例の方の経過報告。2 月より利用開始し、夜間せん妄による大声で叫ぶ等の不穏症状は一旦、落ち着いていたが、再発した為、精神科受診し主治医、家族と連携を図り、本人様に合った薬を検討しながら、症状が出たときは都度、職員対応にて経過観察中。少しずつ薬の効果も見られ、職員も本人様の心身状態を確認しながら、場面に合わせて対応を模索し、改善傾向にある。

・事例 2…直江在住。67 歳男性。要介護 5。以前母親が利用していた方
年齢は若いが、疾病により生活全般において介助が必要である。利用開始時は、以前元気な時の容姿とは別人のようになっており、目つきも陰しく発語も困難な状態だったが、現在は職員との信頼関係もでき、コミュニケーションも可能となっている。

○事例 1 に関して

様より…前回より落ち着かれていると聞き良かった。高齢者の発言は、どこまで本当のことを言っているのか判断がつかないので対応が難しいと思う。

様より…本人様がせん妄等により一番苦しかったと思うが、落ち着いてきているとの事でよかったのではないと思う。

様より…施設での対応に慣れられる期間も個々で違う為、本人様にとって意にそぐわない場面では対応が大変でしょう。

様より…職員へのストレスから虐待行為へとなくなってしまうことが多いが、穏やかになっているとの事で
すごく安心しました。職員さんが良く対応されているのでは。

・施設内では他の利用者との関係性もある為、引き続き主治医、家族とも連携を図り薬物療法の併用も行っていくが、認知機能低下により本人様にとってもご自身の身体状況の変化を理解できにくい状況となっていることや自分の考えや思いをうまく言葉にすることができず、もどかしい思いで苦しまれていらっしゃると思われる。その為「大声で叫ぶ」と言う行動となり本人様にとっては、感情の発露となっていることを理解し、本人様の表出できない思いや認知症の行動・心理症状(BPSD)の背景因子を探り、安心して穏やかに過ごせる環境作りの継続が必要である。